

# 衛生管理プロジェクト報告書

2018年1月18日

Cambodia Empowerment Project

本レポートは、NGO 団体カンボジア・エンパワーメント・プロジェクト（以下、CEP）が、2017年11月にカンボジアにおいて実施した「衛生管理プロジェクト」に関する報告レポートである。

## 【要約】

- 1) 2つの村と、孤児院および日本語学校にて衛生管理プログラムを実施。オリジナルポスターやマニュアルの説明・掲示のみならず、専門家による歯磨きや手洗いのデモンストラーションと子どもたちを交えた練習を実施
- 2) 子どもたちが「自ら実行できるまで繰り返しプログラムを提供する」必要があることから、学校教師や村のリーダー層による毎朝の歯磨き・手洗い確認・指導のお願いと、現地 NGO によって衛生管理プログラムを繰り返し実行できる環境を整備
- 3) 今後の課題は、プログラムを定期的に行う環境の確立と、実施箇所の拡大、プログラム実施後の改善状況の確認（チェック機能の確立とインパクト指標化）、子ども向け歯ブラシの確保

## 【概要】

1. 日時：2017年11月26日～29日
2. 場所：プレイプリエル村、Hope Of Children ノリエ孤児院（以上、バットアンバン州）、チュンポウプレック村（タケオ州）、田山日本語学校（プノンペン）
3. ターゲット：小学校、またはプレスクールに通う年齢の子どもたち
4. プロジェクトゴール：
  - i. 子どもたちの日々の衛生管理・健康管理意識向上と実践
  - ii. 繰り返しプログラムが実施できる環境の構築
  - iii. プノンペン（首都）在住大学生の自国社会問題への意識啓蒙と行動促進
5. プロジェクト実施ツール：
  - i. ポスター（2パターン：CEP オリジナル）<sup>\*1</sup>
  - ii. 衛生管理・応急処置マニュアル（CEP オリジナル）<sup>\*2</sup>
  - iii. 2,500本以上の歯磨き（協賛企業各社<sup>\*3</sup>からの寄付）
  - iv. 歯磨き・手洗い指導用ビデオの撮影、健康管理に対する意識向上ビデオの配布（先生、村のリーダー層向け）
  - v. 100個以上の手洗い用石鹸の提供（石鹸網含む）
6. 本プロジェクトの協力者：
  - i. 歯ブラシメーカー<sup>\*3</sup>：歯ブラシのご提供
  - ii. スナダイ・クメール<sup>\*4</sup>（Sna Dai Khmer：カンボジア NGO）：チュンポウプレック村担当者とのスケジュール調整、当日の移動手段の確保など
  - iii. Denriche Asia Dental Clinic：カンボジアの歯科クリニック<sup>\*3</sup>。当日の歯ブラシ指導を実施
  - iv. 王立プノンペン大学およびメディカルスクールの学生：衛生管理・応急処置マニュアルの現地語翻訳、当日の手洗い指導の実施
  - v. JICA スタッフ（看護師）、日本人歯科医 NGO：オリジナルポスター・衛生管理マニュアル作成助言
  - vi. Mates Global Communication Co., Ltd：カンボジアのフリーペーパー発行企業<sup>\*3</sup>。プログラム当日の活動サポート、動画撮影

7. プロジェクト実行費用：

ポスター印刷費用	33,000
石鹸、サンダル等、購入費	9,416
移動・交通費	43,700
宿泊費・食費	25,034
合計	111,151

\*本費用に、スタッフの渡航費、荷物等のカンボジア運搬費用は含んでおりません。

【詳細】

1. プログラム実施時の様子

i. チェンポウプレック村（タケオ州）

首都プノンペンから車で1時間半～2時間ほどのタケオ州内に位置する村で、3つの小学校350人の子どもたちに対して、歯磨き・手洗いのデモンストレーションと歯ブラシを使った練習を実施。また、プレスクール、小学校教師、村のリーダー層向けに、動画やポスターを使って衛生管理・健康管理の重要性を伝え、ポスターの掲示を依頼。「習慣化するまで繰り返し伝えること」の重要性を理解いただき、授業前に子どもたちの歯磨き・手洗い状況のチェックを繰り返し行うようお願いをした。さらに、当日撮影した歯磨き・手洗いのデモンストレーション動画をスナダイ・クメールのメンバーや村の先生方と共有することで、常時「正しい歯磨き、手洗いのチェック」が行える体制を整えた（カンボジアにて購入した手洗い用石鹸と、寄付いただいた歯ブラシ、ノートと鉛筆を提供）。

※クリニックの歯科衛生士の方々による歯磨き指導セッション：<https://goo.gl/wb52Mx>



学校での生徒たちへのセッションと先生・村のリーダー層向けの講習風景

ii. プレイプリエル村、Hope Of Children ノリエ孤児院（バタンバン州）

CEP が長年提供している米銀行<sup>\*5</sup>（お米を活用したマイクロファイナンス制度）に参加している 5 つの村<sup>\*5</sup>のリーダー格の男性に集まっていただき、衛生管理や健康管理の重要性の啓蒙、学校や各村の集会場、寺院などへのオリジナルポスターの掲示依頼と子どもたちへの歯ブラシ提供を実施。

Hope Of Children ノリエ孤児院においては、スナダイ・クメールと共同で、孤児院の子どもたち 20 名前後を交えたインタラクティブなデモンストレーションを実施。同孤児院の手洗い場を拝見したところ、「大人用」の歯ブラシにて歯磨きを行なっていることがわかった。セッション実施後、25 名の子どもたち向けにサンダル、子供用の歯磨き、手洗い用の石鹸の提供、運営資金として少額ながら寄付を行なった。



各村のリーダー層へのセッション、孤児院でのセッション風景

iii. 田山日本語学校（プノンペン）

こちらの日本語学校は、「日本語の指導とマナーや道徳を身につける」ことを目的に生徒に対して無料で授業の提供を行っており、基本的な衛生管理や健康管理は実施されていたため、オリジナルポスターの説明と掲示依頼を実施。

## 2. プログラム実施結果

今回のプロジェクトを立ち上げるにあたり、衛生管理に関する知識に乏しい CEP メンバーが正しい教育を行うためには、外部のプロフェッショナル（特に、歯医者や看護師など専門知識を持った方々）との協働と、繰り返しプログラムを実施するために、プノンペンの大学生など若者への意識啓蒙・社会問題解決へのボランティア活動参加を促すことが大きな焦点であると考えていた。結果的には、タケオ州のクリニックに勤務する JICA の看護師、現地の歯科医・歯科衛生士、またカンボジアのトップ大学である王立プノンペン大学の学生と一緒にプロジェクトを遂行することができ、「衛生管理プロジェクト」の第一歩を踏み出すことができたと感じている。

村のリーダーや先生方からは、「正しい歯磨きの仕方や、衛生管理や健康管理の重要性がいまいちわかっていなかった。今回のプログラムで何をしなければならないのかよくわかった」という声が聞かれた。また、今回歯磨き指導を手伝ってくださったカンボジアの歯科医・歯科衛生士の方々からは、「カンボジアでは歯磨きをする習慣が根付いていないこと」、「歯の健康状態を確認すると、首都のプノンペン市内でさえ歯を抜かなければならない状態の子ど

もたちが多くいる」という声を伺うことができた。実際に、チュンポップレック村で実施したデモンストレーションでは、歯磨きチェックを行う赤い液体で子どもたちの歯が真っ赤になっていた（正しく歯磨きができていない証拠）。

一方で、市場や町中、村の歯ブラシ販売状況をリサーチすると、「子ども用歯ブラシ」が浸透していないこともわかった。その結果、「歯を磨くことの大切さ」と「適切な歯ブラシ」で、繰り返し子どもたちにデモンストレーションを行う必要性があることを実感した。

## 【今後ついて】

### 1. プログラム実施効果測定

プログラム実施の効果測定に関しては、インパクト効果を測定するための指標設定を検討しており、課題と効果を定量的に測定できるような指標設定を行う。

### 2. プログラム提供エリアの拡大

スナダイ・クメールによって、Poor Improvement Organization が運営する孤児院でのプログラム実施が決定しており、今後、活動範囲を拡大する。また、今回訪問してデモンストレーションを行った村や孤児院においては、一過性の取り組みにならないようチェック体制の確立と定期訪問による衛生・健康管理意識の向上を目指す。

## 【追記】カンボジアにおける歯ブラシについて

プログラム実行途中でプノンペン、バタンバン市中の市場（ローカルマーケット）やスーパーマーケット（Lucky Supermarket など）、路面店に立ち寄り、歯ブラシの販売状況や値段を視察。ほとんどが大人用の歯ブラシで、タイやベトナム、中国からの輸入が大半を占める。プノンペンの市場（オルセーマーケット）での卸値が40,000 リエル/50本、スーパーなどでの販売価格は1,200~6,000 リエル/1本（\*1ドル約4,000 リエル）。



## 【補足】

\*1 オリジナルポスター（日本語版）



衛生管理ポスター



応急処置ポスター

\*2 オリジナル衛生管理マニュアル：ダウンロード（日本語版）は[こちら](#)

\*3 巻末の協賛企業各社様のロゴをご参照

\*4 スナダイ・クメール（Sna Dai Khmer）について：カンボジアで活動するカンボジア人女性 5 人組を中心としたカンボジア NGO 団体。チュンポウブレック村でのプレスクールの展開や孤児院での道徳・衛生管理教育の実施、FarmDirect Cambodia（有機農法の指導や農産物の販売）や Compassion（薬莢から創作されたアクセサリーの販売）の設立、農村で織られたストールなどの販売など、経済成長から取り残されている地方の村の支援を行なっている

\*5 米銀行：主要作物であるお米を活用したマイクロファイナンス制度。現在以下の村・世帯（数）が加入している。タグネン村（211 世帯）、プレイプリエル村（45 世帯）（以上、バットアンバン州）、トロップエンウエイン村（50 世帯）、スヌール村（96 世帯）（以上、コンポンスプー州）、スレイプリエル村（30 世帯）（以上、コンボンチュナン州）

### 【ご協力いただいた企業・NGO・大学一覧】



### 【発行者】

Cambodia Empowerment Project（カンボジア・エンパワーメント・プロジェクト）

住所 111-0053 東京都台東区浅草橋 3-33-6-500

ホームページ <https://www.cep-ngo.net/>

メールアドレス [info@cep-ngo.net](mailto:info@cep-ngo.net)

作成者：日名 哲嗣